

# メガボンドによるALCパネル板への タイルの施工要領

日 藻 工 材 株 式 会 社

〒174-0043 東京板橋区坂下2-13-18

TEL03(5392)1007

# メガボンド施工要領

## 1. 適用範囲

この施工要領はALCパネル板に対してのタイルを張付けする際の施工方法に適用します。

## 2. 材料の保管

材料の保存期間：密封状態で製品受取後2ヶ月以内とし、開封後は直ちに使用して下さい。

材料の保管場所：屋内に保管して下さい。但し、コンクリート面に直に置く事は避けて下さい。  
又、水濡れは厳禁です。

## 3. 作業条件

- ① 作業時の気温は5℃以上40℃以下として下さい。
- ② 施工時に直接雨が当たらないようにし、強風や直射日光はオープンタイムが短くなります。シートを張る等の必要な養生をして下さい。
- ③ 塗付け後は早期に乾燥する恐れのある場合は、シート掛け等による適切な乾燥防止策を講じて下さい。
- ④ 冬期は塗付け後、早期に降雨、降雪に遭うと、白華の発生や夜間の低温低下により、凍害を受ける恐れがありますので、十分な養生と作業を早めに切り上げる等の対策を講じて下さい。
- ⑤ 使用する水はすべて水道水として下さい。
- ⑥ タイルは50二丁か50三丁までのモザイクタイルが望ましい。

## 4. 作業手順

### (1) 下地の点検

#### a. 捨てシーリングの確認

ALCパネル間の捨てシーリングについて工事監督立会いのもとに確認して下さい。

#### b. 凸部の処理

ディスクサンダーで凸面を削り平滑にして下さい。

#### c. 段差及び欠け面の補修

水湿しを行い、メガボンド20kgに珪砂6号10kgを加えたもので補修処理をして下さい。

### (2) エキスパンションの設定

#### a. 上下パネルの横目地

#### b. 出隅部入り隅部

c. 階高が5階以内の壁面は、3m以内ごと。それ以上の階高は1.8m以内ごと。

d. 1800mm以上の開口部がある場合は、その両端。

#### e. 異種構造体の継ぎ目

f. その他、動きが予想される部分

(3) 下地の清掃

ALC表面のゴミ・ホコリ・切削時の粉塵等を、ブロアーやブラシを使用し、触った時に手についてこない程度まで取り除いて下さい。

(4) 目地処理

ALCの接合部分(エキスパンション以外の目的)に、ポリウレタンか変性シリコンによるコーキング処理をし、乾燥後メガボンド20kg、珪砂6号10kgの調合モルタルで充填し、平滑に塗付けて下さい。(養生期間3日以上)

(5) 水湿し

全体に均一なベージュ色になるまで、噴霧器等により十分に水湿しをして下さい。

(6) メガボンドの下コスリ

水湿しをした後、1時間以内に軟らかめに練ったメガボンドモルタル(メガボンド20kg・水7ℓ)でALCの目をつぶすように1～1.5mm厚にコスリ塗りをして下さい。

※最初少なめの水で硬練りし、徐々に残り水で軟らかさを調整するとママコが出来にくくなります。

(7) タイルの張付け

a.張付けモルタル

メガボンド20kgに対して水6ℓを入れ、ハンドミキサーを用いてダマのなくなるまで混練りします。

b.塗付け

メガボンドによる下コスリを終え、2～3時間以上経過して乾いたALC面に塗り厚3～4mmに塗りつけて下さい。1回の塗り面積は3㎡以内として下さい。クシ目立ては10分以内で、タイルが張れる面積にとどめて下さい。やむをえず10分以上経過してしまった場合は、掻き落とし、再度塗り直して下さい。

※天候によっては10分間に限らず、皮張る場合があります。タイル裏面の付着具合を確認しつつ早め早めの張付け作業をして下さい。

c.タイルの張付け

タイルはたたき板等で、たたき押えながら張付けます。たたき押えは全面にわたって充分に行ってください。

d.塗り厚の確認

接着モルタルはタイルの裏足に空隙が生じない様、完全に回り込ませる必要があります。所々タイルを剥がしてみ確認して下さい。

e.練り置き時間

直射日光を避け、無風状態で60分以内として下さい。

f.ユニットタイルの紙剥がし

ユニットタイルを張り付けた後、速やかにスポンジ・霧吹き等で水を含ませた紙を剥がします。目地直しは、接着モルタルの軟らかいうちに行い、タイル配列の修正後は、その部分を再度入念に、たたき押えて下さい。

※接着モルタルの硬化が進行してから目地直しはタイルの接着を損ねます。掻き落して再度張り直して下さい。

g.目地の清掃

タイルの張付け後、しまり具合を見計り先端の尖った細いものを使用して、目地の清掃を行ってください。特に伸縮目地部分はタイル小端を入念に清掃して下さい。

(8) 目地詰め

a. 事前点検

目地の通り、タイルの凸凹、色合いを点検し、異常のない事を確認して下さい。

b. 目地モルタル

設計図書もしくは、監督者の指示に従い、市販の目地セメントを使用して下さい。

c. 目地詰め

タイル張付け後、1日以上経過した後、接着モルタルが完全に硬化してから実施して下さい。

d. 前処理

目地詰め時には、接着モルタルが乾燥しております。水湿しを必ず実施して下さい。

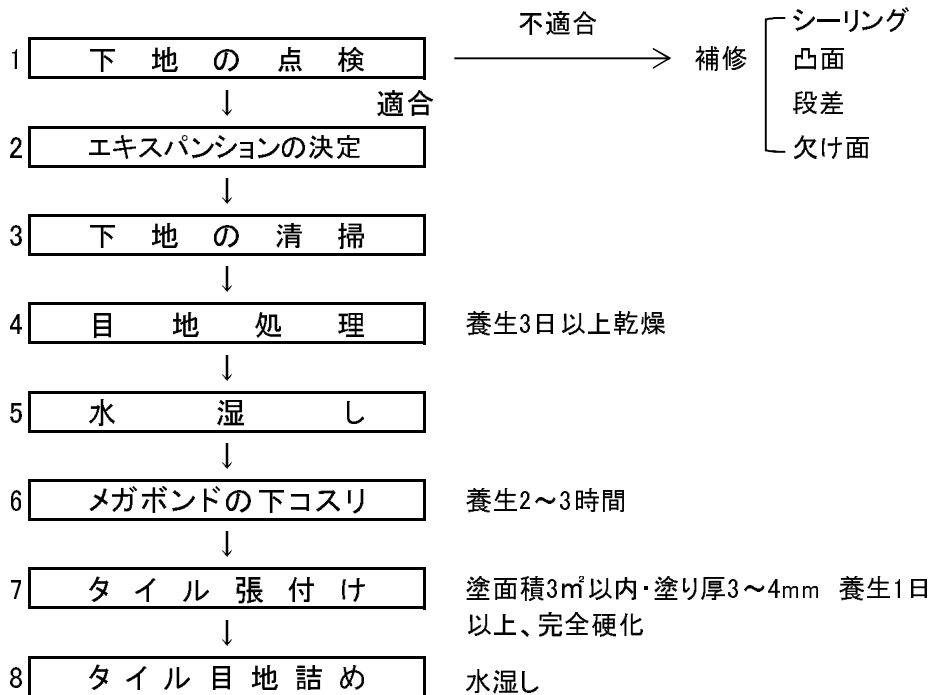
e. 清掃

目地詰め後、速やかに水で濡らしたスポンジ等で、入念に目地セメントの付着物を拭き取ります。

※清掃後もタイル表面に着しい汚れが残る場合は、係員の承諾を得て、酸洗い(工業塩酸の30倍希釈液)を実施して

下さい。但し、酸洗い前に十分に水湿しを行い、尚且つ酸洗い後、散水を繰り返して酸が残留しない様にして下さい。

工程図



尚、以上の要領については作業条件等により、協議の上変更する場合があります。